

けいせん

# 議会だより

第20号

## 議員研修

平成30年5月16日～18日

**国会訪問**  
麻生太郎事務所・高瀬弘美事務所を表敬訪問。



↑ 麻生太郎事務所  
← 高瀬弘美事務所

八木山バイパス4車線化などの、前向きな意見交換をしました。



**栃木県那珂川町**  
(定住自立圏視察)

地域公共交通

① デマンド交通

○ 乗合いタクシーで、料金は300円。

○ ワゴン車3台・タクシー型3台



デマンド交通タクシー

② コミュニティバス

○ 40人乗り2台で8往復、料金は最大500円。

○ 高校生に対する通学補助に

より、利用者の8割は高校生。  
③ 東野交通

○ 大型バス

**栃木県大田原市**  
(グリーンツーリズム視察)

農家民泊事業(特に東京・横浜など関東都市圏の生徒の教育旅行で利用)

○ 第3セクター(出資金は市から5000万円、一般企業から1500万円)

○ ホームステイと違って利用者からお金を頂くので、農家の副収入になる。

(2泊3日1人分 14400円、多い農家で年間100万円)

○ 体験メニューは農家(約130軒)それぞれが考えていて、非常に好評で苦情はない。

林 英明



大田原市

# 一般質問

6月定例会で次の議員が  
一般質問しました



竹本慶吉議員

## 中ノ坪橋上流の堤防補強について

**問** 前回の3月議会でも質問したが、中ノ坪橋上流の堤防が低く見える。その理由を専門的な立場から説明して頂きたい。

**答** (小金丸建設事業課長) 河川堤防は、住民の生命と財産を洪水等から守る重要な構造物である。この堤防が部分的に低く見える原因は2つ考えられる。1つ目は、中ノ坪橋の路面が河川堤防より上にあり、そのすり付けを目的としているためだ。2つ目は、当該河川の上流に建設されている中ノ坪井堰の前後で川底に高低差があり、川底から堤防天端までの高さは一定であ

ることから、部分的に下がっているように見える。

しかし、質問の位置における河川の流下能力(水を流せる計画能力)は確保されていると考えられるが、昨年の九州北部豪雨のように、想定した雨量を大幅に超えた場合には、河川から水があふれないとは言いい切れないのが現状だ。

## 町長・町議会議員選挙について

**問** 本年10月に予定されている町長・町議会議員選について、立候補の意思があるのか。あれば所信を表明して頂きたい。

**答** (井上町長) 私は、現在3期目の任期満了を迎えようとしている。これまでの12年間、皆様の温いご理解ご協力をいただき本町の町づくりの舵取り役として、大過なく勤めさせていただいたことに対し心から感謝している。この間、桂川駅前駐車場や道路整備・自主防災組織づくりや防

災無線・防災倉庫の設置・防犯街灯の増設・町道土居瀬戸線の改良工事・30人以下学級の実施・NTT光ファイバーの敷設等の着実な成果を見た。現在は、地方創生の4本柱を中心に事業を展開し、桂川駅舎の改築や、町営住宅建設等に取り組んでいる。これらの事業を町長として推進したい。



杉村明彦議員

## 福祉バスについて

**問** 今年3月に定住自立圏協定を飯塚市と結んだことや、西鉄バスの路線廃止も決まっているなか、飯塚市・嘉麻市との連携を含め、福祉バスの見直しをするいい時期ではないか。

**答** (江藤健康福祉課長) 「福祉バス」は町民、特に高

齢者の生活には欠かせない移動手段として喜ばれ、事業成果も十分に挙げてきたと考えている。「デマンドバス」については、高齢者等の交通移動支援施策として導入する自治体も増えており、今後研究していきたいと思う。

**問** 秋に廃止になる28番路線、弥栄・笹尾方面の対応は考えているのか。

**答** (井上町長) 関係する行政区への周知については飯塚市・嘉麻市と協議し、6月5日付けで各行政区へ回覧による周知をおこなっている。利用者に対する対策として、28番系統のバス停は8停留所あるが、福祉バスと重複及び並行して運行している区間が多く、今後は地元区長と協議し、西鉄バスとの調整もあわせて検討していきたい。

## 国民健康保険税について

**問** 桂川町の国民健康保険税の賦課方式は4方式で、所得割・資産割・均等割・平等割の4つだが、この中の資産割は、保険税にどのくらい影響するのか。

**答**（平井税務課長） 国民健康保険加入世帯の平均の固定資産税額6万円で算定すると、40歳から64歳までの被保険者が2人、40歳未満が1人の3人世帯で、所得200万円、資産ありの年間の保険税は40万円。同世帯で資産がない場合の保険税は37万4、300円となり、その差、2万5、700円となる。

**問** 全国的に4方式から3方式（資産割廃止）にする市町村が増加している。福岡県内でも60市町村中24自治体だけだが、見直しはできないか。

**答**（町長） 福岡県は、昨年11月に福岡県国民健康保険運営協議会が答申した運営方針において、3方式を標準的な算定方式としつつ、現時点では各市町村の判断に委ねられている。

本町の場合、累積赤字は縮減しているが、まだ繰上充用をしている状況にあるので、今後の推移を見守る必要がある。当分の間は現行の4方式で運営を行っていく。



大塚和佳議員

各学校のエアコン設置について

**問** 中学校のトイレ改修（約7、235万円）が、各学校のエアコン設置申請より先になった理由は。

**答**（瓜生教育長） 中学校トイレの臭気対策等が喫緊の課題だったので、トイレ改修を優先した。また、平成29年10月に文科省は、公立学校施設整備にかかる平成30年度の概算要求の考えとして、全国的に学校施設の老朽化が検討された為。

**問** 申請金額等の内容は。

**答**（教育長） 学校ごとにエアコンを設置する教室の総面積と概算工事を記載した建築計画事業一覧を提出しているが、設

置個所等により変わる可能性もあるため、金額等は回答できない。

学校施設整備基金の創設について

**問** 平成27年6月議会で、学校施設整備基金創設について質問したが、「基金の中の公共事業整備基金を活用していく」との回答だった。桂川小学校は管理教室棟が41年経過しているが。

**答**（井上町長） 教育施設の現状並びに財政状況を考えた時、教育施設に特化した基金の創設を検討する時期に来ていると認識している。基金の創設は議会の議決が必要になる。時期や内容等検討している。

**問** 議員（私たち）の任期が11月までなので、9月議会で提案できないか。

**答**（町長） 議会の議決事項であるので、意見として聞いておく。

職員独自の災害対応等について

**問** 防災・減災の取組みとして、各関係機関の連携強化は大切であるが、住民は個人や近所で解決できないときには役場に連絡してこる。町長在職中、職員の研修や訓練の内容等は。

**答**（山邊総務課長）

①庁舎内での避難訓練は、実施していない。

②AED（自動体外式除細動器）の訓練は、平成29年7月に9施設の入替えを行い、対象施設の職員については実施したが、全員ではない。

③災害に対する図上訓練は、実施していない。

④地域防災計画にある災害時の配備態勢の話し合いは、一部の課で実施している。

⑤災害ボランティアの受入れは社協が主体だが、自主防災連絡会の委員としてのみ参加。

⑥桂川町災害時職員行動マニュアル

アルの研修等は、マニュアルデータのみ配布。



吉川紀代子議員

### 公共交通対策について

**問** バス対策協議会で本町はどんな発言をしたのか。

**答** (原中企画財政課長) 西鉄バスからの提案は全線廃止であり、赤字補填を行う事で路線を維持する調整を行った。運転手不足については最後まで調整がつかず、28番路線の廃止を認めた。

**問** 赤字補填はどのように協議したのか。

**答** (企画財政課長) 具体的な赤字補填額は決定していない。

**問** 西鉄バス路線廃止ありきで進められている。国や県・他の自治体に申し入れをして西鉄バス路線復活を要求すべきだ。

### 同和助成金について

**問** 平成30年度の解放同盟助成金はいくらか。

**答** (尾園社会教育課長) 74万円の予算計上。

**問** 解放同盟になぜ助成金を出すのか説明を求めろ。

**答** (井上町長) 部落差別解消・人権教育・啓発等に取組む活動に公益性が認められる事、歴史的な経緯・隣接自治体の対応を踏まえて支出している。

**問** 基本的には社会問題としての部落差別は解決し、政府も2002年、これ以上の特別対策は「問題の解決に有効とはいえない」として、同和対策事業を終結させたというのが歴史の到達点であり、本町も助成金は廃止すべきだと思う。

### 国保税の引き下げについて

**問** 国保税の広域化が4月から導入されたが、市町村に国保税の強化を迫るこの仕組みは、町民に大きな負担と犠牲を強いいる事になる。町長は「29年単年度の収支において黒字決算となった」と報告された。高い国保税を引き下げるべきではないか。

**答** (町長) 累積赤字は縮減しているが、まだ繰上げ充用をしている。当分の間は現行の保険税率のまま運営を行う。

### 非婚世帯対策について

**問** ひとり親の不公平解消のため非婚でも寡婦とみなし、各自治体で独自に支援が広がっているが、本町はどうなっているか。

**答** (坂井住民課長) 児童扶養手当では、非婚の方でも要件を満たせば支給される。

### 学童保育の指導内容について

**問** 子どもが主権者として成長するために、本町では子どもの

### つぶやき

三年前から男性料理の会に参加したいと思っていましたが、今年四月に念願が叶いました。

入会のきっかけは、「あなた料理くらいは習っておかないと、これからは一人で生きて行けませんよ。」との妻の一言でした。

社会を見てみると相変わらず、小さい子供達への虐待による死亡事件が続いています。この様な悲惨な事件ばかりでなく、世の中にもっと明るいニュースが欲しいものです。

そこで話は戻りますが、おいしい料理を作り皆と楽しく食事ができればと考えました。子ども食堂の話がニュースに出ていましたが、最近運営がむずかしくなっているようです。私も料理の腕前をあげて、子ども食堂のような事が、将来出来ればと考えています。

竹本慶吉

意見をどのように聞く努力をしているのか。

答（秦 子育て支援課長） 子ども一人ひとり発達の個人差を踏まえて対応している。

問 「子どもの権利条約第12条」を深く捉えることが大事と思う。



藤川正恭議員

### 同和施設の老朽化について

問 納骨堂・農機具倉庫等の歴史的経緯について、1969年に始まった同和对策事業は、同和地区とそれ以外の地区との格差を無くすために始められたものだが、1970年代に多くの施設がつくられ50年近くがたとうとしている。同和对策事業を活用すると15分の1で事業がで

きた。例えば千八百万円の物件なら百二十万円の町負担でできた。同和对策事業を行う時の同和地区指定は誰が行ったのか。行政がここは同和地区、ここは同和地区ではないなどと指定できるのか。

答（井上町長） 過去、地区指定がどのように引かれたのか私は知らない。行政がここは地区、地区外というような線引きはできない。

問 行政が線引きできないという事は、当時は関係団体と協議したはず。だとすれば補修の段階でも協議すべきではないのか。

答（横山保険環境課長） 今後の取り扱いについては、地域の実情を考慮しつつ、関係団体と協議・検討をしながら、運営する事が望ましいと考える。

答（山本産業振興課長） 修繕については、軽微なものは施設管理者で、大規模なものは、関係団体と協議しながら、

検討していく。

問 道路・橋等も老朽化している。同和对策事業失効時に、一般対策に工夫とあつたが、今後の対応は。

答（小金丸建設事業課長） 同和地区の格差解消のため、道路や橋を建設してきた歴史があり、現在は社会資本整備事業等で対応している。

問 同和对策事業でライセンスターを建造した時は3億5千万円かかったが、桂川町民の利益になるという事で農協へ無償で譲渡した。今後、同和对策事業で造った物件が町の持ち出し以上で売却できるような場合は、町に利益が出ると思うが、そんな場合町としてどの様に対応するのか。

答（町長） そのような払い下げについては、事案によって個別に対応していきたい。

### つぶやき

この「つぶやき」の原稿を入稿する時、紫陽花あじさいが咲いていました。

花と言えば、桂川町の町花は、向日葵ひまわりです。私の趣味の一つにガーデニングがありますが、昨年からは向日葵の栽培を始め、今年は20株ほどの向日葵が庭先に咲き誇る予定です。

今年4月、桂川小学校では「人権の花」種植え式が行われました。この議会日より届くころには、鮮やかに咲く向日葵が見られるだけでなく、それを見て喜ぶ児童の姿も一緒に見られることでしょう。

今年10月は、桂川町議会議員改選の年です。有権者が18歳以上になった公職選挙法の改正後、初めての桂川町議会議員選挙になります。前回より投票率のアップを願っています。町議会では4年間、様々な改革に取り組んでまいりました。桂川町の皆様には、御協力を頂きましたことに感謝を申し上げ、つぶやきといたします。

原中 政廣



# 6月定例会で審議された結果



【議案】	件名	審議結果
承認第1号	桂川町税条例等の一部を改正する条例の制定について（専決）	【承認】 全員賛成
承認第2号	桂川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について（専決）	【承認】 賛成多数
承認第3号	平成29年度桂川町一般会計補正予算（専決第3号）について	【承認】 全員賛成
承認第4号	平成29年度桂川町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（専決第1号）について	【承認】 全員賛成
承認第5号	平成29年度桂川町土地取得特別会計補正予算（専決第1号）について	【承認】 全員賛成
承認第6号	平成29年度桂川町国民健康保険特別会計補正予算（専決第2号）について	【承認】 全員賛成
承認第7号	平成29年度桂川町後期高齢者医療特別会計補正予算（専決第1号）について	【承認】 全員賛成
承認第8号	平成29年度桂川町水道事業会計補正予算（専決第1号）について	【承認】 全員賛成
承認第9号	平成30年度桂川町国民健康保険特別会計補正予算（専決第1号）について	【承認】 全員賛成
議案第16号	福岡県自治会館管理組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更について	【可決】 全員賛成
議案第17号	福岡県市町村消防団員等公務災害補償組合規約の変更について	【可決】 全員賛成
議案第18号	福岡県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	【可決】 全員賛成
議案第19号	損害賠償の額を定めること及びこれに伴う和解について	【可決】 全員賛成
議案第20号	桂川町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	【可決】 全員賛成
議案第21号	平成30年度桂川町一般会計補正予算（第1号）について	【可決】 全員賛成
報告第2号	平成29年度桂川町継続費繰越計算書の報告について	—
報告第3号	平成29年度桂川町繰越明許費繰越計算書の報告について	—

## 【追加議案】

意見書案第2号	少人数学級の推進などの定数改善と、義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための2019年度政府予算の策定を求める意見書（案）について	【可決】 全員賛成
請願第2号	少人数学級の推進などの定数改善と、義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための2019年度政府予算に係る意見書採択のための請願	【みなし採決】